

島根県消防学校



創立 50 周年

島根県消防学校創立 50 周年にあたりごあいさつ申し上げます。本校は県下の消防職員及び消防団員等の教育訓練機関として、昭和 44 年 4 月に松江市黒田町に設置されてから 50 年を迎えました。

この間、平成元年には消防職団員の更なる教育訓練充実のため松江市乃木福富町に移転し、入校者には、「消防精神に徹する」「心身の鍛錬に努める」「消防技術の錬磨に専念する」の 3 つの学生心得を掲げ、日々教育訓練に邁進し、平成 30 年度末までに延べ約 7,000 人の消防職員及び 6,000 人の消防団員、その他の教育では 1,700 人に対して教育訓練を行ってまいりました。

これも一重に消防関係者や県民の皆様のご理解・ご支援あってのことと心より感謝申し上げます。

さて、学校施設は年月の経過とともに老朽化が進み、建て替えの必要性や複雑多様化する災害や火災に対応し、高度な技能の習得等を目指した教育訓練施設の整備も必要となっています。財政上の問題はあっても、平成 25 年から島根県長寿命化計画により施設の延命化による維持管理に努めています。

また、平成 26 年度には消防活動訓練棟を新設し、火災防ぎよ、救出訓練等の充実を図ってまいりました。

近年は、複雑・多様化する災害に加え、頻発する大規模な地震、風水害等広域的な災害体対策の必要性が強く認識され、広域的な災害対応と、県民の安全、安心な暮らしを守る消防機関に対する期待はますます大きくなっています。

このような中、消防職員、消防団員の皆様には、各種災害に対応し、県民の安全・安心な生活確保のため、ご尽力をいただいていることに心から敬意をさらわすとともに、一層の知識・技能の習得に向け、消防学校を積極的に活用いただけるようお願い申し上げます。

今後は、コンテナを使用した新たな「実火災体験型訓練」(火災形状を知ることにより、身体の安全や注水のタイミング等を体験する)を整備し、時代の流れに沿った実践的な訓練への施設整備とともに、増加する女性消防職団員にも配慮した施設及訓練の充実を図る所存でありますので、引き続き関係各位の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



島根県消防学校長
福島 貢



沿革

- 昭和 44 年 4 月 島根県消防学校設置 (松江市黒田町)
- 昭和 56 年 4 月 女性消防職員 (第一期生) 入校
- 平成元年 4 月 新校舎新築移転 (松江市乃木福富町)
- 平成 5 年 4 月 環境生活部に移行 (行政組織規則の一部改正に伴い環境生活部を新設)
- 平成 14 年 4 月 災害用臨時ヘリポート及びヘリコプター



駐機場整備 (島根県広域防災拠点: 消防学校の施設及び隣接の防災備蓄倉庫)

環境生活部から総務部に移行 (行政組織規則の一部改正)

平成 25 年 4 月 総務部から防災部に移行 (行政組織規則の一部改正)

平成 26 年 3 月 管理棟、寮棟、屋内訓練場外壁改修

平成 27 年 2 月 消防活動訓練棟建設

平成 31 年 3 月 主訓練塔、耐煙消火訓練棟 (ドーム) 外壁改修

令和元年 補助訓練塔外壁改修予定

